



令和2年度 第1回病院運営審議委員会資料

【案件2】

令和元年度の業務状況及び  
令和2年度の取り組み姿勢について

2020.6.8

市立ひらかた病院

# 令和元年度の業務状況

本院では、更なる経営改善を図るため、収益向上に向け、以下の目標を掲げ取り組んできました

目標：病床利用率85%の達成

《選ばれる病院》  
地域に根差した病院

地域診療所への積極訪問  
積極的な逆紹介の徹底  
連携室のチェックの強化

地域連携の推進

目標：紹介率 65%  
逆紹介率 70%

情報発信の強化

魅力・強味の積極的発信

H.P.の充実  
各種講座やイベントの開催  
外大コラボ、インスタ

《信頼される病院》  
医療の充実

手術件数の増

目標：300件/月

積極的な救急受入

目標：応需率90%

救急搬送入院率45%

健診・検査の充実

がん・C型肝炎の早期見直し

消化器センターの稼働  
地域診療所へのPR  
午前手術の推進

“断らない医療”の標榜  
消防組合との意見交換

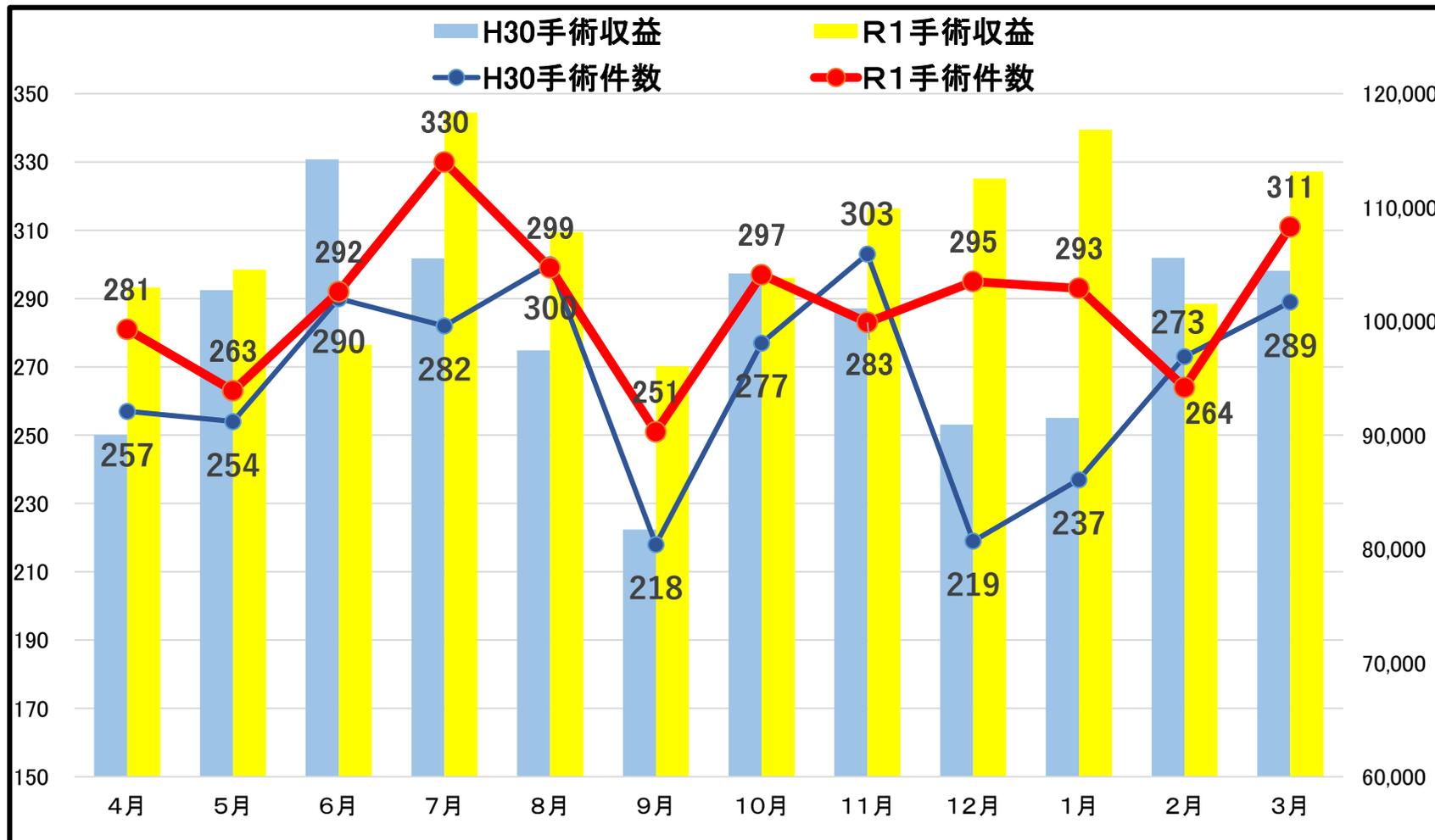
“見落としゼロ”  
キャンペーン

外部の経営コンサルタント

- 診療科ごとの基準ベッド数の設定 → 達成に向けた手法を議論
  - 紹介率向上に向けた取り組み
  - 新たな施設基準や加算の獲得

# 目標：手術件数300件／月

## 手術件数及び手術収益の状況（平成30年度・令和元年度）



### 手術件数（月平均）

H30年度 267件



R元年度 288件

21件の増

### 手術収益（月平均）

H30年度 99,128千円

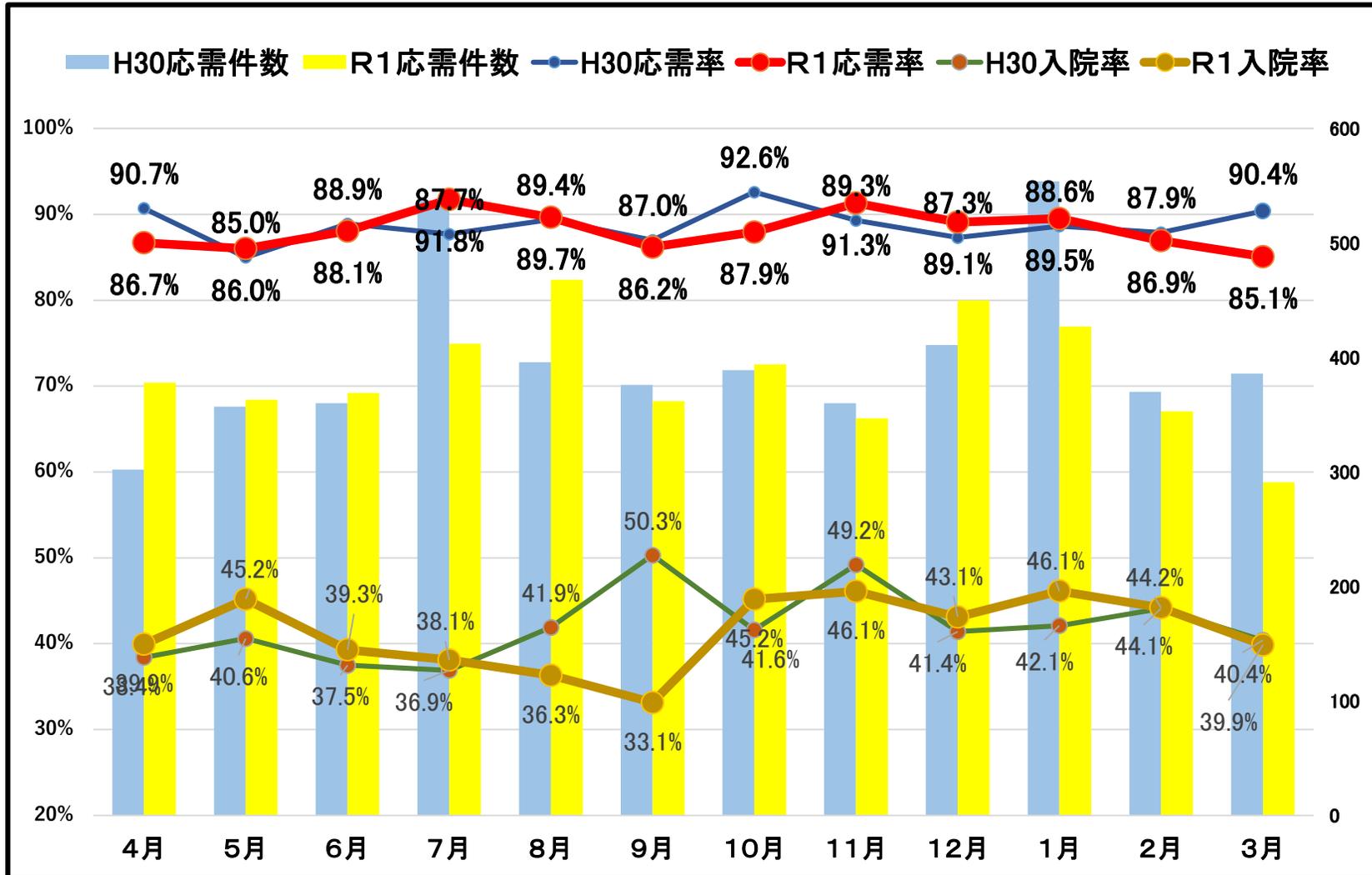


R元年度 107,121千円

7,993千円の増

# 目標:救急応需率90%、救急搬送入院率45%

## 応需率・入院率・応需件数の状況（平成30年度・令和元年度）

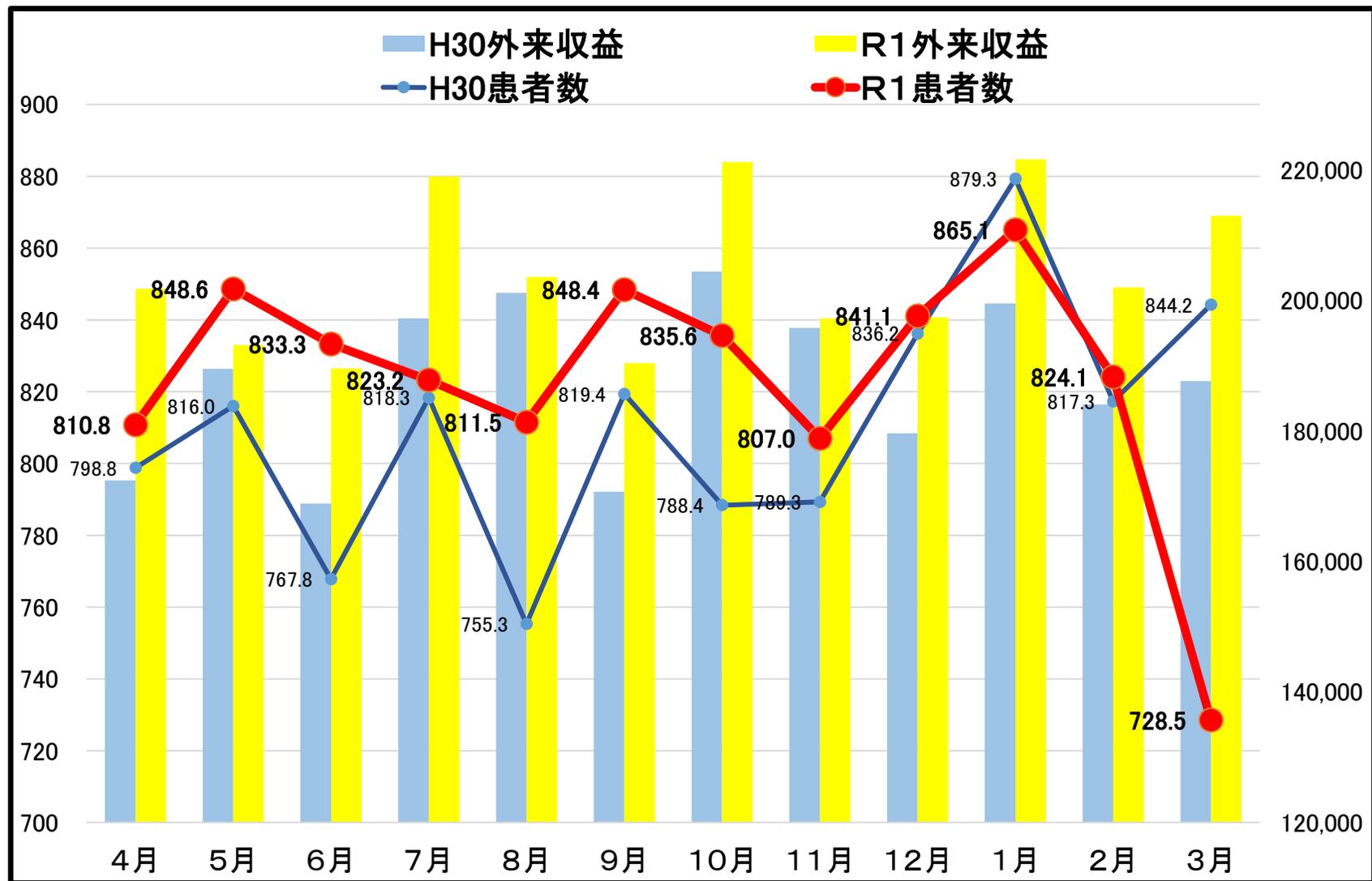


応需率(月平均)	
H28年度	68.3%
H29年度	84.8%
H30年度	88.7%
R元年度	88.3%

過去最高であった  
昨年度の水準を維持

応需件数(月平均)	
H28年度	248件
H29年度	337件
H30年度	400件
R元年度	385件

# 外来患者数及び外来収益の状況(平成30年度・令和元年度)



1日平均患者数  
 H30年度 809.3人  
 ↓  
 R元年度 823.7人

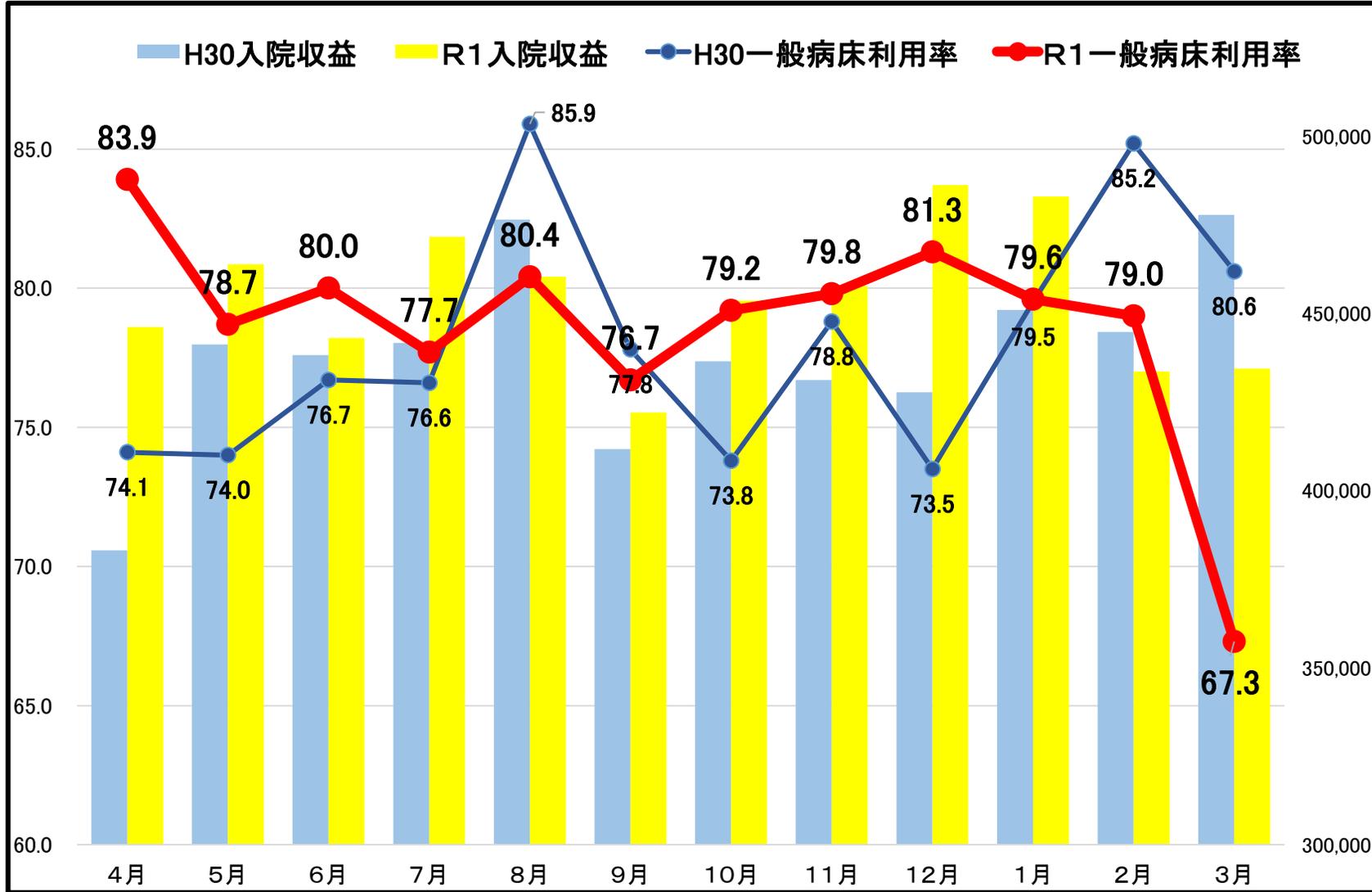
14.4人の増

外来収益 (月平均)  
 H30年度 187,566千円  
 ↓  
 R元年度 204,145千円

16,579千円の増

# 目標:病床利用率85%

## 病床利用率及び入院収益の状況 (平成30年度・令和元年度)



### 病床利用率

H30年度 78.0%



R元年度 78.6%

前年度比 0.6ポイントの増

新型コロナウイルス禍前である  
1月までの利用率は79.7%

1月までなら  
前年比 2.6ポイントの増

### 入院収益 (月平均)

H30年度 438,464千円



R元年度 454,689千円

前年度比 16,225千円の増

1月までの月平均収益は  
458,820千円

1月までなら  
前年比 24,922千円の増

# 令和2年度の取り組み姿勢

4・5月

6月以降

早期に...

病院一体となって  
コロナ対策に注力

引き続きコロナへの対応

コロナ発生  
前の水準に  
戻す努力

更なる経営改善へ  
の取り組み

新たな目標の  
設定

継続的な取り  
組み

地域連携の強化

救急の受入強化

手術件数の増

etc

新たな取り組み

## 下肢機能再建センター

関節の痛みなどによって仕事や日常生活に支障を来している方が、  
“**元気に歩ける**” イキイキとした暮らしを取り戻すため、股関節の手術を主軸とした専門的な医療を提供

仕事やスポーツの  
キャリア継続

健康寿命の  
延伸

7月  
プレオープン

積極的なPR





令和2年度 第1回病院運営審議委員会資料

【案件3】

新型コロナウイルス感染症への対応状況  
及びその影響について

2020.6.8

市立ひらかた病院

# 大阪府における新型コロナウイルス感染者の状況

1/29  
府内で初の  
陽性患者を確認

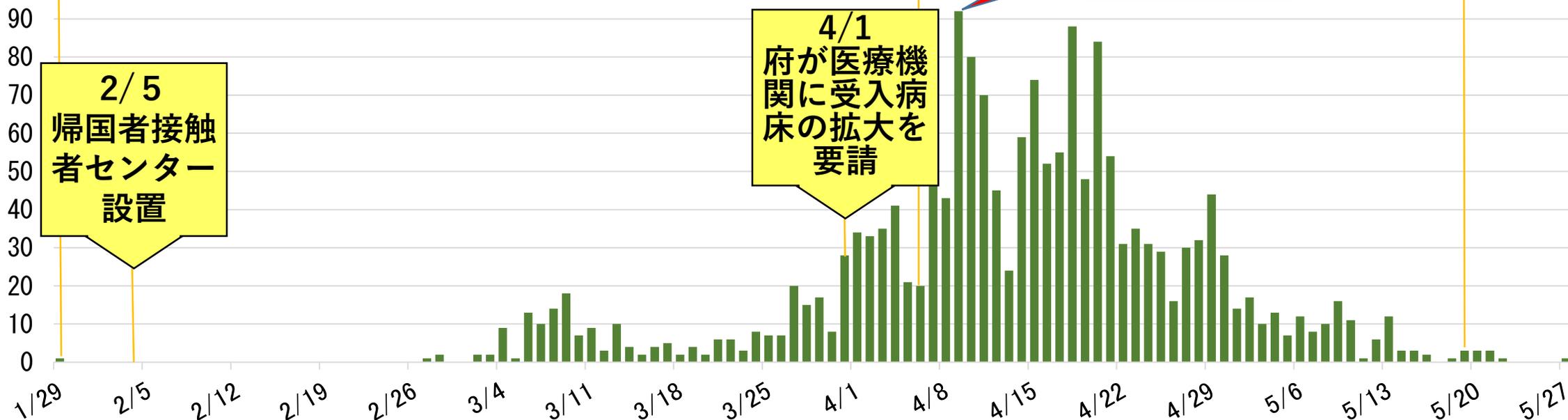
2/5  
帰国者接触  
者センター  
設置

4/7  
7都道府県に  
緊急事態宣言

4/9には92人の  
感染を確認

5/21  
大阪府の緊急事  
態宣言解除

4/1  
府が医療機  
関に受入病  
床の拡大を  
要請



市立ひらかた病院では…

1/23に看護局でシミュレーション訓練(体制確立)

大阪府や保健所と連携し、適宜、必要な対応

## 様々な影響

- 感染症に対応するため、一部の一般病床を閉鎖、縮小
- 手術や処置の停止
  - ・ 感染の危険性から実施しない旨のガイドラインが示されたため  
(消化器内科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科等)
  - ・ 手術用の衛生材料(ガウン・手袋)の不足による一時制限
- 各種健康診断や人間ドック等の停止
- 医療相談・連携室の地域の診療所への訪問活動の停止
- 下肢機能再建センターのオープンの延期

・・・etc

## 浮かび上がった課題

### 病院経営の悪化

患者数の減少  
受診控え  
手術等の診療行為の制限  
健診の中止 …etc

### 職員の精神的・肉体的負担

感染のリスクから、常に強度の緊張感  
を強いられる  
イレギュラーな業務の増 …etc

### 様々な感染防止対策が必要

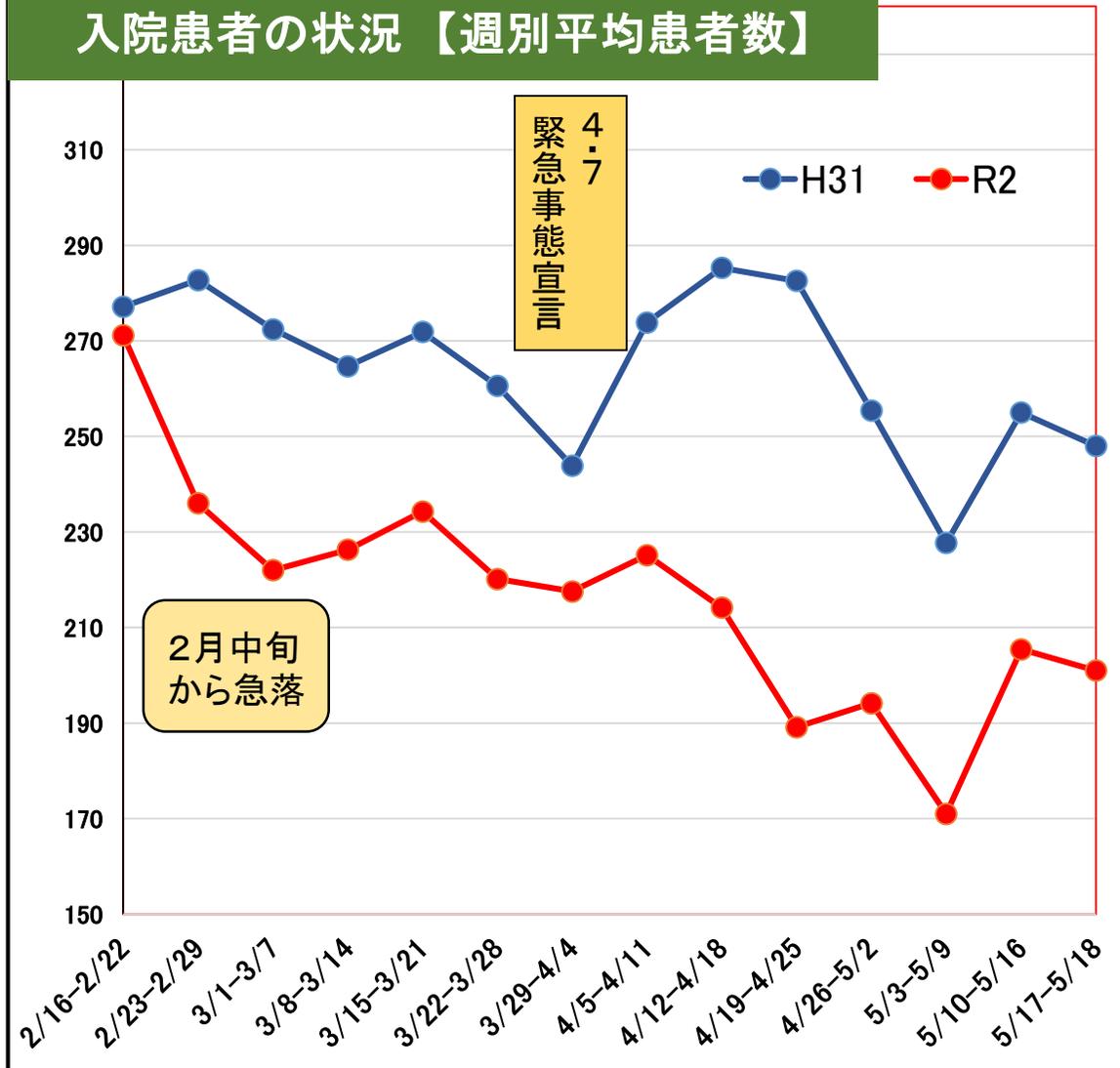
感染対応の設備が整備されていても、  
一般患者や面会による来院者でも  
感染している可能性

### 衛生材料等の不足

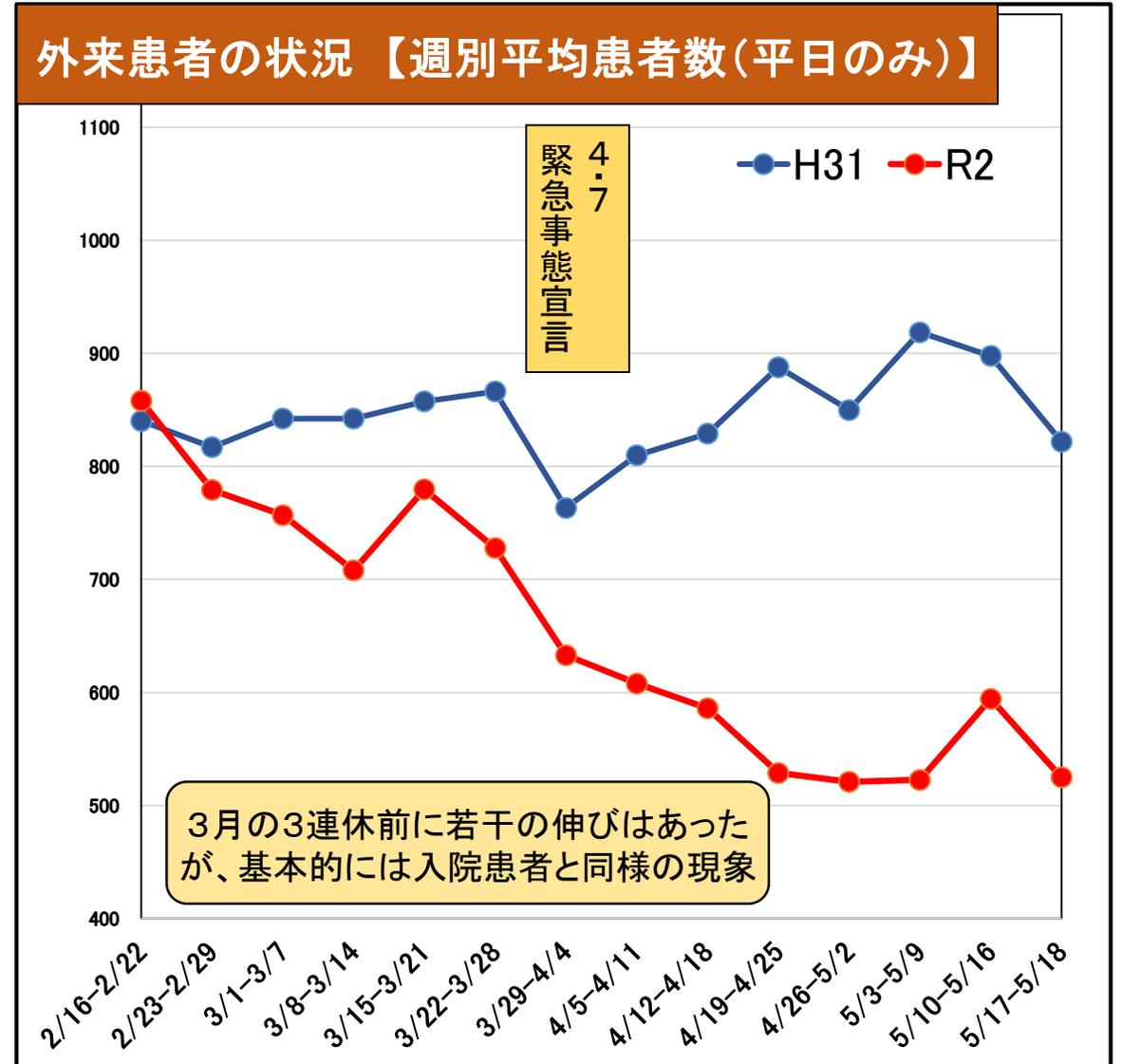
ガウン、マスク、フェイスシールド、  
手袋など、多くの衛生材料の納品が  
ストップ

# 患者・収益の減少

## 入院患者の状況【週別平均患者数】

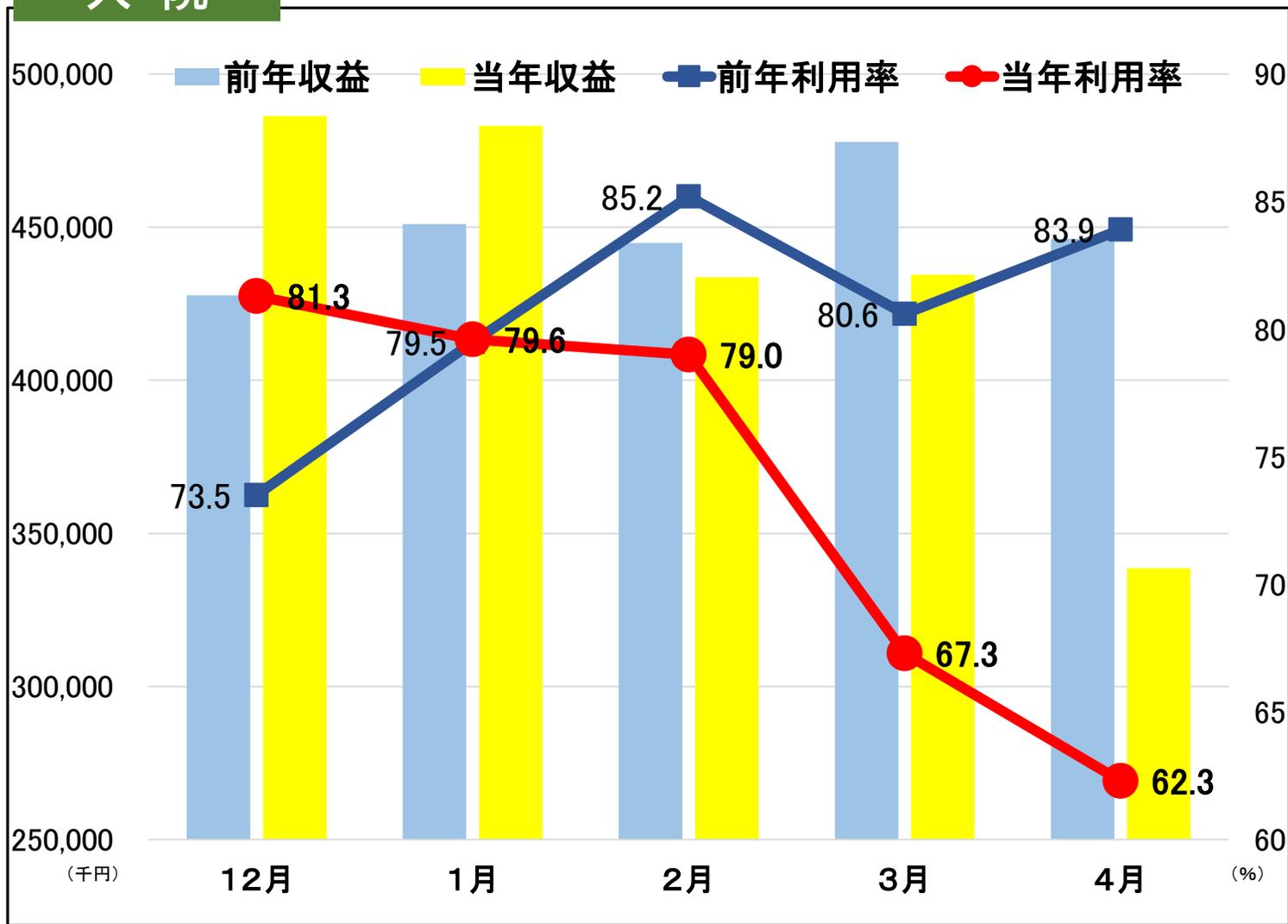


## 外来患者の状況【週別平均患者数(平日のみ)】



# 新型コロナウイルス感染症発生以降の業績の状況

## 入院



## 病床利用率

前年4月 83.9%

当年1月 79.6%

⇒ **当年4月 62.3%**

前年4月比 ▲ 21.6%

当年1月比 ▲ 17.3%

## 入院収益

前年4月 446,173千円

当年1月 483,060千円

⇒ **当年4月 338,663千円**

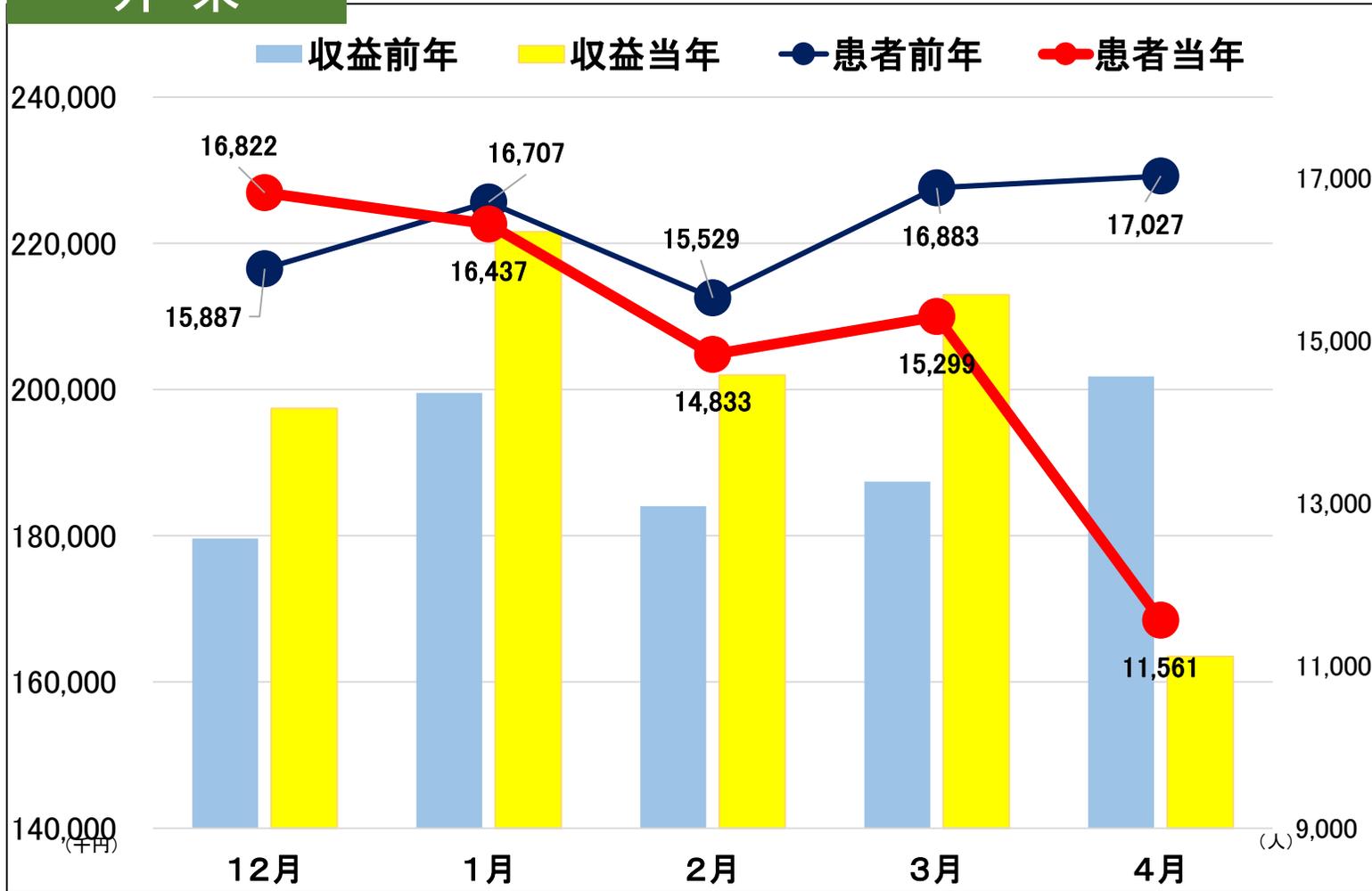
前年4月比

▲ 107,510千円 (下落率 ▲ 24.1%)

当年1月比

▲ 144,397千円 (下落率 ▲ 30.0%)

# 外来



### 外来患者数

前年4月 17,027人  
 当年1月 16,437人  
**⇒ 当年4月 11,561人**  
 前年4月比  
 ▲5,466人(下落率▲32.1%)  
 当年1月比  
 ▲4,876人(下落率▲29.7%)

### 外来収益

前年4月 201,785千円  
 当年1月 221,591千円  
**⇒ 当年4月 163,494千円**  
 前年4月比  
 ▲38,291千円(下落率▲19.0%)  
 当年1月比  
 ▲58,097千円(下落率▲26.2%)

**入院・外来収益の合計 前年4月 647,958千円、当年1月 704,651千円 ⇒ 当年4月 502,157千円**  
 前年4月比▲145,801千円(下落率▲22.5%)、当年1月比▲202,494千円(下落率▲28.7%)

## 本院の感染防止対策の取り組み

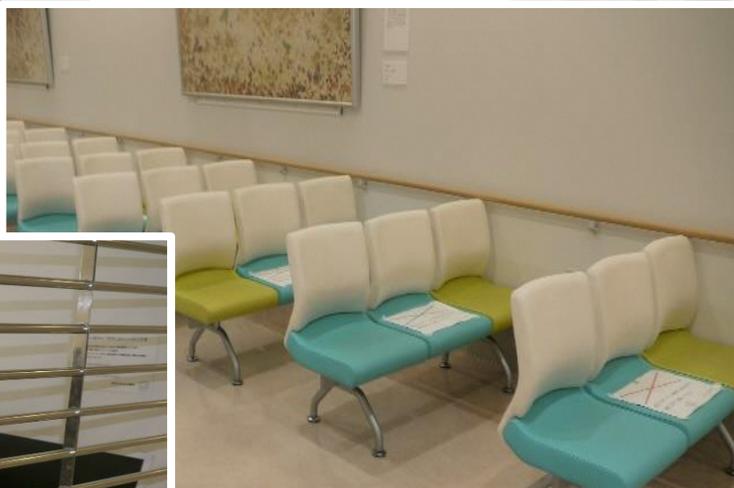
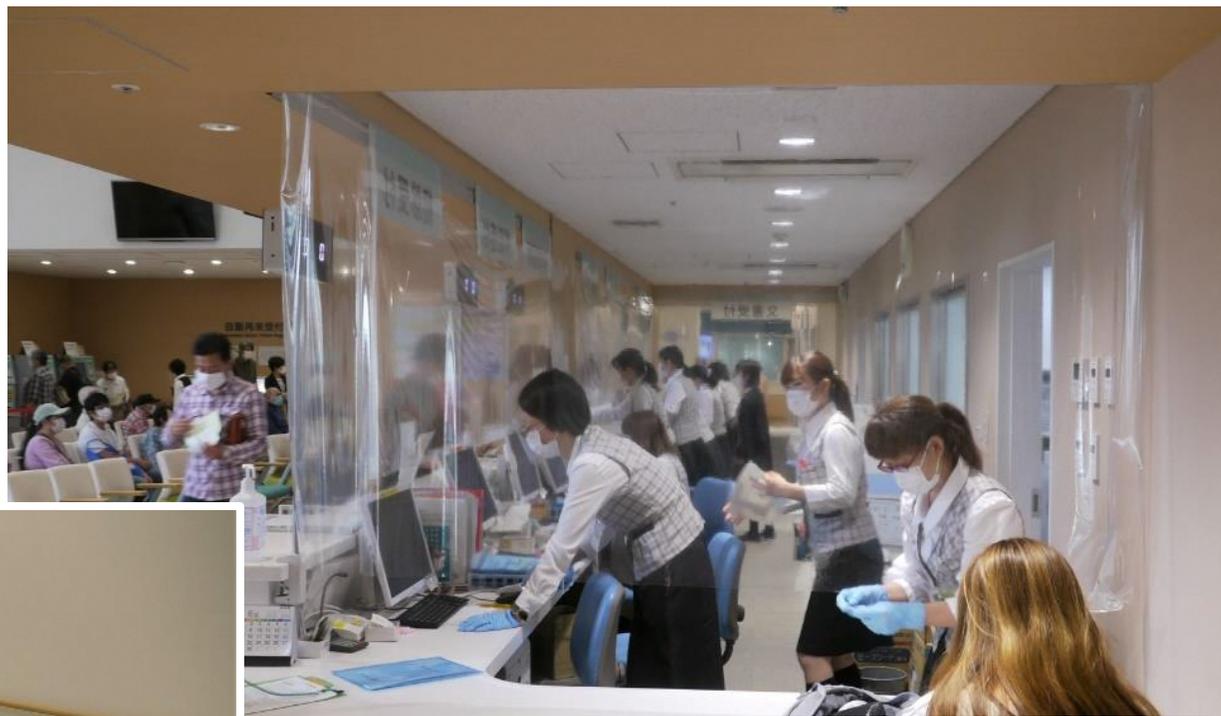
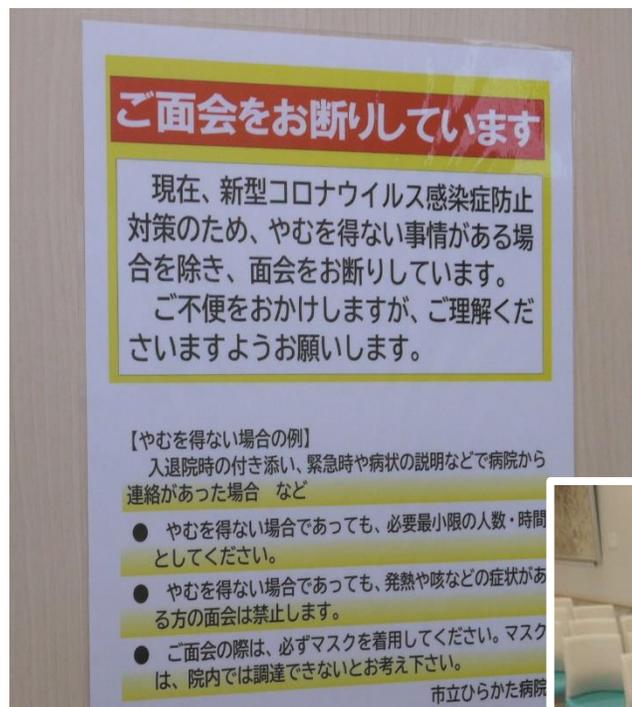
### 出入口での検温及び発熱外来の設置



出入口で検温(非接触)を実施し、発熱等の症状が認められた方には、一般患者とは別のルートで救急外来に設置した“発熱外来”で診療



# 院内各所で院内感染防止対策を実施



# メンタルヘルス支援チームの立ち上げ

未知の感染症により不安や恐怖感など緊急時的なストレス反応に対する、こころの健康を維持するために、衛生委員会の作業部会として設置



ストレスチェック

相談窓口の設置

機関紙の発行

## 衛生材料等の不足への対応

### 院内に物品管理委員会 (臨時組織)を設置

当委員会で新型コロナ関係物品を一括管理



### 職員の手によるビニールガウンの作成



## 他部署からの応援によるビニールガウンの作成



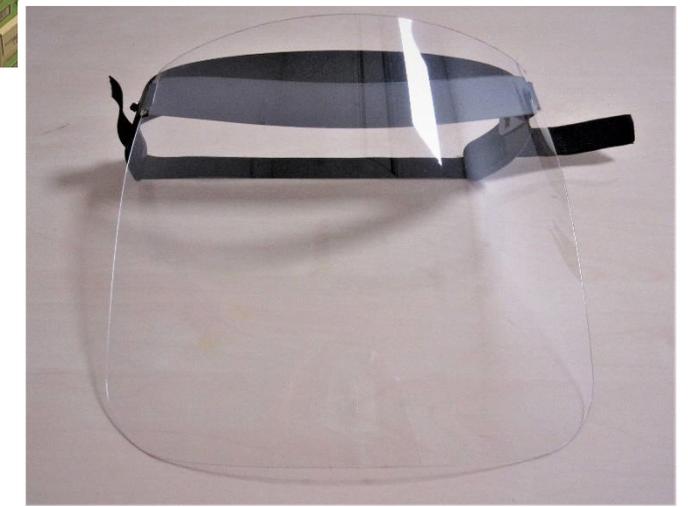
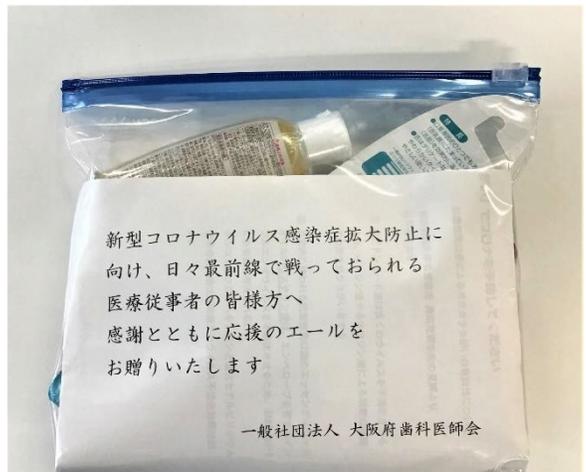
教育委員会や上下水道局の職員の応援により、多数のビニール製ガウンを製作いただいた



# 病院への支援

現場の最前線で業務にあたる医療従事者等に多くの温かい声や支援をいただきました

多数の寄付



現時点で院内感染ゼロ

引き続き新型コロナに対応しつつ

6月から段階的に通常診療体制に